

平成19年4月25日

各位

社団法人 全日本病院協会
会長 西澤 寛俊
社団法人 日本医療法人協会
会長 豊田 堯

「医療安全管理者養成課程講習会」開催のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業活動につきまして、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

医療の安全確保は、病院団体、職能団体、医療機関および医療従事者に課せられた極めて重い責務であります。しかしながら、昨今安全に関する問題が発生しており、医療における安全の確保は国民の大きな要請にもなっております。

かかる情勢を受けて厚生労働省は、医療機関における安全対策、医薬品・医療用具等に係る安全性向上、医療安全に関する教育研修、医療安全を推進するための環境整備等を骨子とする医療安全推進総合対策をまとめ、平成18年には医療法を改正し、医療安全管理体制の整備を行う医療機関の拡大等を図っております。

また、平成18年度の診療報酬改定でも「医療安全対策加算」が新設され、各医療機関に対して医療安全管理体制の整備を促す施策が講じられています。各医療機関における患者と医療従事者の安全確保のための方策の検討と推進は重要です。

当協会では、安全管理・質管理の基本的事項や実務指導に関わる教育・研修を行い、組織的な安全管理体制を確立する知識と技術を身につけた人材（医療安全管理者）を育成・養成することによって、安全文化を醸成し、医療の質向上を図ることを目的に、これまで四病院団体協議会で実施しておりました「医療安全管理者養成課程講習会」を開催することにいたしました。

当講習会プログラムは平成19年3月に厚生労働省より出された「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」に則った内容となっております。

また、当講習会の講義2クール（4日間）及び演習（2日間）の全日程を修了した方に「認定証」を授与いたします。本講習会は診療報酬の「医療安全対策加算」取得の際の研修要件を満たしており、「認定証」は研修証明となります。

会員各位におかれましてはご繁忙中のことと拝察いたしますが、関係者の派遣につき格段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

「医療安全管理者養成課程講習会」実施要領

1. 主催：（社）全日本病院協会、（社）日本医療法人協会
2. 開催日時：第1クール（講義）平成19年6月23日（土）9：30～18：20
6月24日（日）9：00～17：30
第2クール（講義）平成19年6月30日（土）9：30～18：00
7月1日（日）9：00～17：00
第3クール（演習）① 平成19年7月21日（土）、22日（日）
② 平成19年8月4日（土）、5日（日）
③ 平成19年8月18日（土）、19日（日）
④ 平成19年9月8日（土）、9日（日）

※「演習」については、上記日程のうち第3希望までご記入下さい。
時間はいずれも（土）10：00～18：00、（日）9：00～17：00の予定です。
ご希望いただいた日程の中を調整のうえ、ご連絡させていただきます。

3. 会場 第1クール（講義）「ベルサール九段」
東京都千代田区九段北1-8-10 TEL：03-3346-1396
（東西線九段下駅7番出口徒歩3分）別紙案内図参照

第2クール 講義「TFTビル東館9F 905・906会議室」
東京都江東区有明3-1 TEL：03-5530-5010
（ゆりかもめ国際展示場正門駅徒歩1分）別紙案内図参照

第3クール 演習「全日本病院協会（6F会議室）」
東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル
TEL：03-3234-5165 FAX03-3237-9366
（JR水道橋駅西口 徒歩1分）

4. 参加料：80,000円
（第1クール・第2クール・第3クールの受講料、テキスト代、昼食代を含みます）
5. 定員：第1クール・第2クール講義：250名（先着順）
第3クール演習：1回あたり約60～70名前後（第1クール、第2クールとも受講された方のみ受講可能）

※第3クール演習の参加は第1、2クール受講修了者に限ります。1回60名～70名前後で4回開催予定です。上記日程のいずれかの土日2日間、1回のみ参加いただきます。ただし、暫定措置として、4病院団体協議会主催の安全管理者養成講習会受講者で、講義の修了証取得後3年以内の者は、当協会講義受講修了者と見なし、演習の受講資格を認めます。この場合の受講料は30000円とします。

6. 申込方法：①申込用紙に必要事項をご記入のうえ FAX（03-3237-9366）よりお申し込み下さい。
②おって「確認書・参加費お振込のご案内」を FAX にてお送りいたしますので、送付された案内をご確認のうえ、参加費を指定期日までにお振込ください。

※定員を超えている場合には事務局よりご連絡いたします。

※演習の参加希望日を第1希望から第3希望までご記入ください。

希望者が多い日程は、ご希望に添えない場合もあります。

7. 締切日：平成 19 年 5 月 25 日（金）（定員に達し次第、締切となります）

8. 取り消し：参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。
資料の発送をもってかえさせていただきます。

9. お問い合わせ：（社）全日本病院協会事務局（担当：松村・吉田・高橋・祝）
東京都千代田区三崎町 3-7-12 清話会ビル 7 F
TEL：03-3234-5165 FAX：03-3237-9366

10. その他：ご宿泊につきましては各自ご手配願います。
参加申込の際にお送りいただいた個人情報、適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。

平成19年度

全日本病院協会・日本医療法人協会

医療安全管理者養成課程講習会 プログラム

第 **1** 日 6/23(土)【第1クール】場所：ベルサール九段

9:00

開場

9:30～9:40

オリエンテーション

1 開会挨拶

5分

2 研修の目的と趣旨説明

5分

全日本病院協会 常任理事 飯田修平

9:40～10:30

『なぜ、医療の安全か 質・情報・安全』(50分) 練馬総合病院 院長 飯田修平

- 1) 医療を取り巻く状況
- 2) 何故、医療の安全か
- 3) 事故防止から安全確保へ
- 4) 質重視の病院運営
- 5) 質向上・情報活用・安全確保

10:30～11:30

『医療安全推進の動向』(60分) 厚生労働省 医政局総務課医療安全推進室長 佐原康之

- 1) 安全管理体制の構築と法整備
- 2) 医療制度改革における医療安全対策
- 3) 安全確保に関する指針策定
ICUにおける安全管理について
医療安全管理者の業務指針及び養成のための研修プログラム作成指針
- 4) その他

11:30～12:30

【昼食休憩】

12:30～13:50

『事例収集と分析・改善・標準化・未然防止』(80分) 国際医療福祉大学薬学部教授 池田俊也

- 1) 安全に関する取り組みの経緯
 - ①各国の現状と取り組み(米・英・豪)
 - ②我が国の現状と取り組み事例収集
診療記録調査(chart survey)

13:50～14:00

【休憩】

14:00～15:20

『安全とリスクに関する概念(用語)の理解』(80分) 宮澤潤法律事務所所長 宮澤 潤

- 1) 安全とリスクに関する概念(用語)の理解
 - ①概念(用語)の理解の必要性
 - ②初期対応を誤らないための用語の理解《悪しき結果≠過失》
- 2) 安全管理の必要性・重要性の理解
 - ①医療訴訟の実態
 - ②対応のポイントー「隠さない」(内部告発の多発化)

- ③ 異状死の届出義務ー最近の最高裁判例から
- ④ 「マネジメント」に関する整理
- ⑤ 「事故防止・安全管理に関する取り組み」の整理

15:20 ~ 15:30 【休憩】

15:30 ~ 16:50 『人間信頼性工学』 (80分) 中央大学理工学部教授 中條武志

- 1) ヒューマンエラーの特性
- 2) エラープルーフ化の原理
- 3) エラー防止のためのチーム活動
- 4) エラー防止の組織的推進
- 5) その他

16:50 ~ 17:00 【休憩】

17:00 ~ 18:20 『病院組織概論』 (80分)

- 1) 基本事項
組織・システムとしての組織・集団の行動と統合
- 2) 組織概論
組織目的による分類・専門職組織の二重権限構造・組織と経営・組織の性質からみた分類
基本組織形態・ライン・スタッフ組織・複合組織・総合組織における上下関係・現代の代表的な組織構造（共同体の組織構造）
組織の原則・組織構造の性質よりみた分類・組織の結合と協力・組織図
- 3) 病院組織の特性（一般企業と異なる点）
特性・病院組織の組み立て・病院業務組織・病院における医療倫理・病院における行動科学的組織論
- 4) 参考
用語・医の倫理綱領・ジュネーブ宣言（医師の倫理規範）・患者の権利に関するリスボン宣言

第 2 日 6/24 (日) 【第 1 クール】場所：ベルサール九段



9:00 ~ 11:00

『医療の質向上』 (120分) 練馬総合病院 院長 飯田修平

- 1) いま、なぜ、質向上か
- 2) 質の定義
質の定義・品質 quality・品質と質・クオリティと質
- 3) 医療の質
医療の質・医療の質の要素・医療の質の相対性・良質の医療
- 4) 医療経営の質
- 5) 満足
職員満足 (Employee Satisfaction)・
顧客満足 (Customer Satisfaction)・顧客重視・顧客満足
- 6) 患者の要望 (顧客要求) の把握
- 7) 保証 (Quality Assurance)
- 8) 質向上 (Quality Improvement)
- 9) 質評価
- 10) 認証／表彰制度
品質認証制度・認定・認定機関・認証・認証機関・認証制度・
ISO・ISO (ISO9001 医療版) 病院機能評価
デミング賞・日本品質奨励賞・マルコム・ボルドリッジ国家品質賞・
日本経営品質賞・医療の質奨励賞
- 11) 医療における質管理
ICD、DRG・DPC・パス法・質評価指標・EBM・臨床指標 (CI)・
診療指針 (診療ガイドライン)
- 12) 総合的質経営 (TQM)
- 13) 医療における総合的質経営
CQI (Continuous Quality Improvement)・日本における医療界
へのTQM導入の経緯
- 14) 質管理の基本的考え方
質優先主義・顧客志向・全員参加・三現主義・後工程はお客様・標準化・
継続的改善

11:00 ~ 11:10

【休憩】

11:10 ~ 12:30

『安全管理の組織作りとその運営』 (80分) (株)日立製作所水戸総合病院院長 永井庸次

- 1) 体制づくり (安全管理・品質管理)
- 2) 組織運営
- 3) 推進体制
- 4) 監視・監査体制 (自己チェック、内部監査、パトロール)
- 5) 仕組みの管理
- 6) 安全方針

11:30 ~ 12:30

【昼食休憩】

13:30 ~ 15:30

『質マネジメント概論』(120分) 早稲田大学理工学部 経営システム工学科 教授 棟近 雅彦

- 1) 基本的な概念
 - 顧客要求と質
 - 改善のための重要な考え方
 - 標準化と改善
 - QMS (Quality Management System)
 - 組織的質向上活動に必要な要素
 - QMSによる質保証
 - QCストーリー
- 2) TQM(Total Quality Management)の概要
- 3) 質マネジメントの歴史
 - 質マネジメントの誕生と日本での発展
 - 米国での進展
 - ISO関連の経緯
- 4) TQMにおける主要な管理方式
 - 日常管理
 - 管理項目
 - 方針管理
 - 3つの管理の関係

15:30 ~ 15:40

【休憩】

15:40 ~ 17:30

『質マネジメント概論』(120分) 玉川大学経営学部国際経営学科 教授 大藤 正

- 5) 質管理(QC)手法/技法
 - ① 作る道具と使う道具
 - ② 品質管理とデータ
 - データをとる目的
 - データの種類
 - ③ QC七つ道具
 - パレート図、特性要因図、ヒストグラム、チェックシート、散布図、管理図/グラフ、層別
 - 新QC七つ道具
 - 親和図、関連図、マトリックス図、系統図、PDCCD、
 - アロー・ダイヤグラム、マトリックス・データ解析
- 6) その他の手法
 - FMEA(Failure Mode and Effects Analysis) / FTA(Fault Tree Analysis)
 - QFD(品質機能展開)
 - QC工程表

第 **3** 日 **6/30** (土) 【第2クール】 場所 :TFT ビル東館 9F
905. 906 会議室



9:30 ~ 10:10

『情報提供・収集』 (40分) 練馬総合病院 質保証室 佐伯みか

- 1) 患者への説明
- 2) 情報提供・開示
- 3) 情報収集 (患者の意識を把握する方法)
インタビュー調査・自記式アンケート調査・意見箱 (投書箱)・
日常的なコミュニケーション
把握した内容を改善に反映

10:10 ~ 10:20

【休憩】

10:20 ~ 11:20

『推進・解析・改善体制』 (60分) 練馬総合病院 副院長 柳川達生

- 1) 推進体制
信頼性手法の活用事例
RCA
FMEA

11:20 ~ 11:30

【休憩】

11:30 ~ 12:00

『インシデント事例報告の活用方法』 (30分) 練馬総合病院薬剤科係長 金内幸子

- 1) ヒヤリハット報告収集とその活用
業務フロー図作成
対策実施対象の選定

12:00 ~ 13:00

【昼食休憩】

13:00 ~ 15:20

『安全管理の必要性・重要性の理解』 (100分) 九州大学大学院 医学系学府
医療経営・管理学 助教授 鮎澤純子
中間で10分休憩

- 6) 「リスクマネジメント」に関する整理
- 7) クライシスマネジメントに関する整理
- 8) 安全管理の見直し

『医療事故と保険』 (30分) 九州大学大学院 医学系学府医療経営・管理学 助教授 鮎澤純子

- 1) 「起きた後」に備えてこそリスクマネジメント
- 2) リスクファイナンスとしての損害保険
- 3) 医療事故に関する損害保険
- 4) 「医療行為に起因する医療事故」と「医療施設に起因する医療事故」
①医療行為に起因する医療事故に対応する損害保険
②医療施設に起因する医療事故に対応する損害保険

15:20 ~ 15:30

【休憩】

- 15:30 ~ 17:00 『心理学・教育学・労働衛生など』 (90分) 東邦大学医学部 社会医学講座教授 長谷川友紀
- 1) 医療事故と労働衛生
 - 2) 医療事故の心理学的背景
 - 3) 危険予知活動
 - 4) その他
- 17:00 ~ 18:00 『患者・家族の観点から見た安全確保』 (60分) ささえあい医療人権センター COML
代表 辻本好子
- 1) 病院訪問調査
 - 2) 模擬患者の活用
 - 3) 患者・家族の相談・苦情
 - 患者・家族からの相談や苦情の実態
 - 患者・家族からの相談や苦情への対応の要点
 - 患者・家族との意思疎通による事故防止・安全確保
 - 4) その他

第 **4** 日 **7/1** (日) 【第2クール】場所：TFT ビル東館9F
905.906 会議室



9:00 ~ 10:00

『病院組織概論』 (60分) 練馬総合病院 看護部長 高橋礼子

- 5) 院内組織の活性化
公平性と透明性
既存組織の尊重
- 6) 職員および患者・家族に対する支援体制
 - ①事故発生後の対応
 - ②職員に対する精神的支援体制
 - ③患者および家族に対する支援体制
- 7) 院内暴力への対応と職員教育
- 8) 警察・行政への対応

10:00 ~ 10:10

【休憩】

10:10 ~ 11:30

『研修・教育』 (80分) 禎心会病院 理事長 徳田禎久

- ①自己啓発
- ②情報提供
- ③患者教育
- ④地域教育
- ⑤患者の権利と義務
- ⑥健康教育・疾病教育

11:30 ~ 12:30

【昼食休憩】

12:30 ~ 13:10

『物の管理』 (40分) おびひろ呼吸器内科病院 事務長 森山 洋

- 1) 建物・設備
- 2) 医療機器
- 3) 診療材料
- 4) 医薬品
- 5) その他

13:10 ~ 13:20

【休憩】

13:20 ~ 14:00

『情報の管理・伝達』 (40分) おびひろ呼吸器内科病院 事務長 森山 洋

- 1) 診療情報
- 2) 経営情報
- 3) 情報伝達 (職員、患者、家族、地域、官庁、団体)

14:00 ~ 14:10

【休憩】

14:10 ~ 16:50	『基本統計の理解』	160分	途中で10分 休憩	東京大学大学院工学系研究科 教授	縄田和満
	① 統計の基本的考え方				
	② 統計の使い方 (質の評価・安全確保)				
	③ 代表値: 平均・分散・中央値				
	④ 検定・有意差 $t \cdot \chi^2 \cdot F$				
	⑤ パレート分析				
	⑥ その他				
16:50 ~ 16:55	全体のまとめ	5分		全日本病院協会 常任理事	飯田修平
16:55 ~ 17:00	閉会挨拶	5分		全日本病院協会 常任理事	飯田修平

第①日 **7/21**(土) ● **8/4**(土) ● **8/18**(土) ● **9/8**(土)

【第3クール】場所：全日本病院協会 6F 会議室

- 10:00 ~ 10:20 | 1. 医療におけるRCA (20分) 練馬総合病院 院長 飯田修平
1) 安全な医療の構築を目指して
品質管理手法の活用
- 10:20 ~ 11:10 | 2) RCAの医療における事例 (50分) 練馬総合病院 副院長 柳川達生
- 11:10 ~ 11:20 | 3) RCA演習説明 (10分)
- 11:20 ~ 12:30 | 2. グループ討議 (70分) 講師2~3名、助手3~4名
1) 演習説明・RCA課題設定
2) 出来事流れ図(フロチャート)作成
3) 問題の洗い出し(背後要因抽出)
- 12:30 ~ 13:30 | 【昼食休憩】
- 13:30 ~ 15:00 | 3) 問題の洗い出し(背後要因抽出) 続き (90分)
- 15:00 ~ 15:50 | 4) 原因結果の要約(因果図作成) (50分)
- 15:50 ~ 16:20 | 5) 対策の立案 (30分)
- 16:20 ~ 16:30 | 6) 報告のまとめ (10分)
- 16:30 ~ 17:50 | 7) グループ発表・質疑 (80分)
- 17:50 ~ 18:00 | 8) RCAまとめ (10分)

第②日 **7/22**(日) ● **8/5**(日) ● **8/19**(日) ● **9/9**(日)

- 9:00 ~ 9:30 | 1. 分析手法の再確認 (30分) 玉川大学経営学部国際経営学科 教授 大藤 正
1) FMEA・FTA・原因追求
- 9:30 ~ 10:00 | 2) FMEA医療における事例紹介 (30分) 練馬総合病院薬剤科係長 金内幸子
- 10:00 ~ 10:20 | 2. グループ討議 (20分) 講師2~3名、助手3~4名
テーマ選定・業務フロー チェック
- 10:20 ~ 12:00 | 業務工程表作成 (100分)
- 12:00 ~ 13:00 | 【昼食休憩】
- 13:00 ~ 13:40 | 影響度、発生頻度、検知の難易度 点数化 (40分)
- 13:40 ~ 14:50 | 特性要因図・対策立案・発表まとめ (70分)
- 14:50 ~ 16:10 | グループ発表・質疑 (80分)
- 16:10 ~ 16:40 | FMEAまとめ (30分) 玉川大学経営学部国際経営学科 教授 大藤 正
練馬総合病院 院長 飯田修平
- 16:40 ~ 16:55 | 講習会全体のまとめ・報告課題 (15分) 練馬総合病院 院長 飯田修平
- 16:55 ~ 17:00 | 閉会挨拶 (5分) 練馬総合病院 院長 飯田修平

会場案内図

第1クール（講義）平成19年6月23日（土）9：30～18：20
6月24日（日）9：00～17：30



■住所

東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル3・4F

■アクセス

- ・「九段下」駅「5番出口」徒歩5分（半蔵門線・新宿線）
- ・「九段下」駅「7番出口」徒歩3分（東西線）
- ・「神保町」駅「A2出口」徒歩6分（半蔵門線・新宿線・三田線）
- ・「飯田橋」駅「A5出口」徒歩7分（JR線・有楽町線・南北線・東西線・大江戸線）
- ・「水道橋」駅「西口」徒歩8分（JR線・三田線）



会場案内図

第2クール（講義）平成19年6月30日（土）9:30～18:00
7月1日（日）9:00～17:00



■住所

東京都江東区有明3-1 T F Tビル東館9F 905・906会議室

■アクセス

○りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約5分

・大崎駅（JR）から13分

※大崎から新宿・大宮方面へJR埼京線相互直通運転

・新木場駅（JR 東京メトロ）から5分

○ゆりかもめ（新交通）「国際展示場正門」駅下車直結徒歩約1分

・新橋駅（JR 東京メトロ・都営地下鉄）から22分

・豊洲駅（東京メトロ）から8分

○空港バス（リムジンバス・京浜急行バス）「東京ビッグサイト」下車徒歩約5分

・羽田空港から約25分

・成田空港から約60分

・東京シティエアターミナル（TOAT）から約20分

※イベント開催時のみ運行の便もありますのでご確認下さい。

